

** 2020 年 11 月改訂(第 3 版 新記載要領に基づく改訂)

* 2011 年 10 月(第 2 版)

器(22)検眼用器具

一般医療機器 双眼倒像検眼鏡 JMDN 37067000

ウェルチ・アレン 双眼倒像鏡

**【形状・構造及び原理等】

**以下に形状、構造を示します。



品目仕様等

照明系

- ・4.7V ハロゲンランプ

**【使用目的又は効果】

本品は、眼球内部の直接的な観察により、眼自体の疾患、又は他の身体部分疾患の兆候となる異常の検査に用います。

**【使用方法等】

1. ヘッドバンドの装着

- ① ヘッドバンド深さ調節ノブで、頭部装着後、深さを調節します。前額部のヘッドバンドの位置は、眉からおおよそ指1～2本分以上にくるあたりが最適です。
- ② 倒像鏡部を額に合わせ、ヘッドバンド周囲調節ノブを調節します。ヘッドバンド周囲調節ノブは時計回りに回すと締め、反時計回りに回すと緩みます。
- ③ 接眼部が視軸と合うように、オーバーバンド調節ノブで倒像鏡部を調節します。
- ④ 像鏡部チルトロックノブを回し、接眼部をできるだけ目に近づけます。

2. 瞳孔距離の調節

- ① 親指または小さな目標物を、腕の長さの距離に置いて両眼視します。
- ② 瞳孔距離調節レバーを動かして、像が視野の中心にくるように調節します。瞳孔距離調節レバーは左右ともそれぞれ独立して動かせます。

3. ミラーの調節

ミラー調節レバーで照明光を上下に動かして、視野中央の少し上に調節します。

4. アパチャーサイズの選択

3種類のアパチャーサイズをアパチャーサイズ選択レバーで選択します。

レンジ：散瞳眼用、ミディアム：白内障眼用、スモール：縮瞳眼用

5. フィルタの選択

フィルタを、フィルタ選択レバーで選択します。

6. ディフューザー機能の切り換え

照明光を拡散させ、眼内周辺部まで確認しやすくする機能です。ディフューザー調節レバーで切り換えます。

**【使用上の注意】

- ・本品に使用する AC アダプター及びアクセサリは弊社指定のもの以外は使用しないでください。
- ・ヘッドバンド調節の際、過度にきつく調節すると使用中に疼痛などを起こす場合があります。

- ・本製品に使用する交換用電球は、弊社指定の物以外は使用しないでください。
- ・使用中に何らかの異常を感知した場合は、直ちに使用を中止して点検を行うかあるいはお取引のディーラー担当様または製造販売業者へ連絡してください。
- ・本製品は可燃性の麻酔ガス等の環境下では使用しないでください。爆発の恐れがあります。
- ・本品は滅菌などの措置はできません。故障の原因となります。
- ・本製品は防水構造ではありません。水濡れなどが発生した場合は、直ちに電源スイッチを切り電源コードをコンセントから抜いた上で乾燥した布などで十分拭き取ってください。内部に水などの侵入の恐れがある場合は、点検を受け安全が確認されるまで使用しないでください。【電気ショックを受ける危険性があります。
- ・本製品の使用中あるいは使用直後は電球部分が高温になる場合がありますので皮膚などに触れないように注意してください。熱傷(やけど)などを引き起こす危険性があります。
- ・本製品の光源を見つめたり、連続して目(眼球)を照明したりしないでください。目の組織(網膜)に障害を引き起こす危険性があります。
- ・診断に最小限必要な光度を超えて使用しないでください。特に小児、水晶体欠損患者、眼疾患の患者には注意してください。また過去 24 時間以内に、本器または他の可視光線を用いた眼科診断器具を適用された患者の場合は注意してください。
- ・被検者やこの機器に異常がないことを絶えず監視・確認してください。

**【保管方法及び有効期間等】

常温で清潔な場所に保管してください。

**【保守・点検に係わる事項】

クリーニング

倒像鏡部前面のガラスカバーや接眼部のガラスレンズ、またティーチングミラーは、アルコールで湿らせた柔らかい布で汚れを丁寧に拭き取ります。

ヘッドバンドのレザークッションは、取り外して、石鹼水を含ませた布で汚れを丁寧に拭き取ります。

電球交換

弊社製の 01200-U 予備電球(BIO 用)をご使用ください。

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

**製造販売業者

ウェルチ・アレン・ジャパン株式会社

**外国製造所(国名)

Welch Allyn Inc.(米国)

ウェルチ アレン、インク